

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

# 事務事業評価表（補助金等）

1 事業名	ぼくもわたしもおかやっ子事業補助金			事務事業コード	51203	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	子ども課	担当者	斉藤智也
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	子育て支援	施策	子育て支援の充実	
		事務事業	ぼくもわたしもおかやっ子事業補助金			
		予算科目	保育園管理事業 認定こども園運営事業	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり	
	根拠法令等	岡谷市民間保育所運営費等補助金交付要綱及び同要綱内規 岡谷市民間認定こども園運営費等補助金交付要綱 岡谷市私立幼稚園運営費等補助金交付基準				

## ●事業の内容（D0）

4 補助等の内容	* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容							
① 性質	補助金	② 期間	年度 ~ 年度		③ 対象			
	補助金の種別		協働的団体補助					
④ 制度の内容	食体験を通して、岡谷に住む児童に郷土の地域資源に触れ合う機会を創出する事業に対し、当該経費に対する補助を行う。							
⑤ 積算方法	食体験の実施に要する経費（材料代）							
		H27		H28		H29		H30
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	ヨゼフ	63,000	37,800	81,000	34,400	42,700	65,342	24,100
	ひまわり	55,000	20,000	72,850	43,328	16,800	20,700	37,290
信学会東堀							31,900	
	118,000	57,800	153,850	77,728	59,500	86,042	93,290	
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	岡谷市に住む児童に郷土のよさを幼児期から認識してもらう。また、保護者に向けても地域食材の普及啓発を図る。							

5 補助等の実績						
	区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 件数（件）	予算件数	2	2	2	3	
	実際の支出件数	2	2	2		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
② 金額（円）	予算額	118,000	154,000	60,000	94,000	
	財源	一般財源				
	内訳	特定財源				
	* 特定財源（負担割合）の説明					
	実際の支出金額	57,800	77,728	86,042		
	予算執行率	49.0%	50.5%	143.4%		
	支出額の前年度比		134.5%	110.7%		
③ 29年度の交付先	聖ヨゼフ保育園岡谷、ひまわり保育園（H30年度からは信学会東堀保育園を予算計上）					

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		* 妥当性 = 行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。	1			
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1			
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		高い	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5	10
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。	1			
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、使途を検証している。	1			

7 有効性評価		* 有効性 = 成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性 標準	
評価項目		はい	いいえ		
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1			
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1			
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1			
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1			
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比		

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること) 特になし
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------